

Sugimura M, Kinouchi Y, Negoro K, Takahashi S, Aihara H, Takagi S, Hiroki M, Oomori S, Nomura E, Shiraki M, Tosa M, Abe H, Hiwatashi N, Shimosegawa T	Analysis of the MICA gene in Japanese patients with Ulcerative colitis.	105th annual meeting of American Gastroenterological Association	New Orleans	2004年5月15日
Tosa M, Negoro K, Kinouchi Y, Abe H, Nomura E, Sugimura M, Oomori S, Takahashi S, Shimosegawa T	Analysis of the functional haplotypes of the Padi4, A susceptibility gene of the Rheumatoid arthritis, in Japanese patients with inflammatory bowel disease.	12th UEGW	Prague	2004年9月25日
Nomura E, Takagi S, Kikuchi T, Tosa M, Abe H, Mochida A, Imai G, Yokoyama H, Sato Y, Shiraki M, Oomori S, Sugimura M, Hiroki M, Negoro K, Aihara H, Takahashi S, Kinouchi Y, Hiwatashi N, Shimosegawa T	LONG-TERM EFFICACY OF HYDROSTATIC BALLOON DILATATION OF CROHN' S STRICTURES.	APDW 2004	北京	2004年10月4日
Oomori S, Kinouchi Y, Nomura E, Sugimura M, Yokoyama H, Negoro K, Takagi S, Aihara H, Takahashi S, Shimosegawa T	Association between polymorphisms in the inhibitor of kappa B-like protein (IKBL) gene and inflammatory bowel disease in Japan.	APDW 2004	北京	2004年10月4日
持田淳弘、高木承、木内喜孝	潰瘍性大腸炎の発症・増悪とストレスイベントについての検討。	第90回日本消化器病学会総会	仙台	2004年4月23日
高橋成一、木内喜孝、下瀬川徹	クローン病の腸管外合併症とHLA遺伝子との相関。	第90回日本消化器病学会総会	仙台	2004年4月22日

野村栄樹、木内喜孝、根来健一、土佐正規、阿部浩子、横山大、持田淳弘、今井 豪、佐藤雄一郎、白木学、杉村美華子、大森信弥、廣木美佳、菊地達也、高木承、相原裕之、高橋成一、下瀬川 徹	第6染色体短腕に存在する潰瘍性大腸炎感受性遺伝子座位の絞込み.	第90回日本消化器病学会総会	仙台	2004年4月22日
持田淳弘、高木承、木内喜孝	Colitic Cancerの内視鏡診断と治療 早期colitic cancer症例の内視鏡所見の検討.	第46回日本消化器病学会大会	福岡	2004年10月21日
阿部浩子、根来健一、土佐正規、持田淳弘、今井 豪、横山大、佐藤雄一郎、白木 学、野村栄樹、相原裕之、高木承、高橋成一、木内喜孝、下瀬川 徹	炎症性腸疾患におけるPADI4遺伝子変異の解析.	第46回日本消化器病学会大会	福岡	2004年10月21日
阿部浩子、根来健一、土佐正規、持田淳弘、今井 豪、横山大、佐藤雄一郎、白木 学、野村栄樹、相原裕之、高木承、高橋成一、木内喜孝、下瀬川 徹	日本人炎症性腸疾患におけるGlucose-6-phosphate transporter遺伝子変異の解析.	第46回日本消化器病学会大会	福岡	2004年10月21日
野村栄樹、高木承、木内喜孝	腸狭窄に対する内視鏡的治療 クロールン病小腸大腸狭窄例に対する内視鏡的バルーン拡張術の有用性の検討.	第68回日本消化器内視鏡学会総会	福岡	2004年10月21日

<p>横山 大、高木承、木内喜孝、今井 豪、持田淳弘、土佐正規、阿部浩子、佐藤雄一郎、野村栄樹、白木学、大森信弥、冲 元二、菊地達也、杉村美華子、根来健一、相原裕之、高橋成一、下瀬川徹</p>	<p>当施設におけるpush法およびダブルバルーン小腸内視鏡の比較検討.</p>	<p>第68回日本消化器内視鏡学会総会</p>	<p>福岡</p>	<p>2004年10月21日</p>
<p>土佐 正規、高木 承、横山 大、持田 淳弘、阿部 浩子、今井 豪、佐藤 雄一郎、白木 学、野村 栄樹、杉村 美華子、大森 信弥、冲 元二、菊池 達也、根来 健一、相原 裕之、高橋 誠一、木内 喜孝、下瀬川 徹</p>	<p>重症、難治性潰瘍性大腸炎に対する白血球除去療法 (LCAP) の有効性の検討.</p>	<p>第176回日本消化器病学会東北支部例会</p>	<p>仙台</p>	<p>2004年2月14日</p>
<p>高橋秀一郎、高橋成一、遠藤克哉、角田洋一、松村吉史、阿部浩子、今井豪、土佐正規、持田淳弘、佐藤雄一郎、白木学、野村栄樹、横山 大、根来健一、高木承、相原裕之、木内喜孝、下瀬川 徹</p>	<p>潰瘍性大腸炎に血友病Aを合併した2例.</p>	<p>第177回日本消化器病学会東北支部例会</p>	<p>仙台</p>	<p>2004年7月9日</p>

高橋秀一郎、高木承、遠藤克哉、角田洋一、松村吉史、阿部浩子、今井豪、土佐正規、持田淳弘、佐藤雄一郎、白木学、野村栄樹、横山大、根来健一、相原裕之、高橋成一、木内喜孝、下瀬川徹	クローン病の大量出血例にレミケードを使用した4例の検討.	第1回日本消化管学会	名古屋	2005年1月28日
畑啓介、渡邊聡明、篠崎大、名川弘一	潰瘍性大腸炎術後癌サーベイランスの有用性.	第104回日本外科学会	大阪	2004年4月7日
渡邊聡明、武藤徹一郎、名川弘一	潰瘍性大腸炎合併大腸腫瘍における遺伝子変異およびその臨床応用についての検討.	第90回日本消化器病学会総会	仙台	2004年4月21日
畑啓介、渡邊聡明、名川弘一	潰瘍性大腸炎手術症例における腸管外合併症と回腸囊炎発生頻度の検討.	第90回日本消化器病学会総会	仙台	2004年4月22日
篠崎大、渡邊聡明、名川弘一	潰瘍性大腸炎術後の回腸囊炎における発症因子の検討.	第90回日本消化器病学会総会	仙台	2004年4月23日
渡邊聡明、武藤徹一郎、名川弘一	潰瘍性大腸炎合併大腸腫瘍における遺伝子変異およびその臨床応用についての検討.	第67回日本消化器内視鏡学会	京都	2004年5月26日
畑啓介、渡邊聡明、名川弘一	潰瘍性大腸炎併発大腸癌に対するSurveillance ColonoscopyとPit pattern診断.	第67回日本消化器内視鏡学会	京都	2004年5月27日
小島徹、渡邊聡明、畑啓介、篠崎大、名川弘一	重症潰瘍性大腸炎におけるサイトメガロウイルス感染合併の意義.	第59回日本消化器外科学会	鹿児島	2004年7月23日
小島徹、渡邊聡明、畑啓介、篠崎大、名川弘一	クローン病手術症例の検討.	第59回日本大腸肛門病学会総会	福岡	2004年11月5日
篠崎大、渡邊聡明、畑啓介、名川弘一	潰瘍性大腸炎術後の回腸囊炎の発症危険因子.	第59回日本大腸肛門病学会総会	福岡	2004年11月5日
渡邊聡明、武藤徹一郎、名川弘一	潰瘍性大腸炎外科治療後における発癌の問題点.	第1回日本消化管学会	名古屋	2005年1月28日
杉田昭	潰瘍性大腸炎の急性期治療.	第40回日本腹部救急医学会総会	東京	2004年3月20日
杉田昭	潰瘍性大腸炎に対するQOLを重視したdouble stapling technique (DST)による一期的潰瘍囊肛門管吻合術の有用性.	第104回日本外科学会定期学術集会	大阪	2004年4月8日
五来克也、杉田昭、小金井一隆、山崎安信、木村英明、荒井勝彦、福島恒男、嶋田紘	潰瘍性大腸炎術後SSI (surgical site infection) の発症危険因子の検討.	第104回日本外科学会定期学術集会	大阪	2004年4月8日
木村英明、杉田昭、嶋田紘	潰瘍性大腸炎にともなった壊疽性膿皮症に対する大腸切除術の治療効果	第90回日本消化器病学会総会	仙台	2004年4月23日

杉田 昭、小金井一隆、嶋田 紘	Crohn病初回腸切除後の再発危険因子の検討—Functional end to end anastomosisの効果を含む—.	第90回日本消化器病学会総会	仙台	2004年4月24日
杉田 昭、小金井一隆、木村英明、山崎安信、荒井勝彦、福島恒男、嶋田 紘	重症潰瘍性大腸炎に対する内科治療からみた外科治療の位置付け.	第59回日本消化器外科学会	鹿児島	2004年7月22日
木村英明、小金井一隆、荒井勝彦、杉田 昭、鬼頭文彦、福島恒男	重症潰瘍性大腸炎の外科治療.	第59回日本消化器外科学会	鹿児島	2004年7月24日
福田能啓、高添正和、杉田 昭	経口吸着炭素製剤AST-120 (クレメジン) によるクローン病の難治性痔瘻の治療効果—多施設共同プラセボ対照2重盲比較試験.	第59回日本消化器外科学会	福岡	2004年10月22日
Fukuda Y, Takazono M, Sugita A, Shimoyama T, and JAPAN AST-120 Study Group	A NOVEL THERAPEUTIC STRATEGY: AN ORAL SPHERICAL ADSORPTIVE CARBON (AST-120) FOR ANAL FISTULAS IN CROHN'S DISEASE —A MULTI-CENTER RANDOMIZED DOUBULE-BLIND PLACEBO-CONTROLLED STUDY—.	欧州消化器病週間 (UEGW)		2004年9月25~29日
杉田 昭、木村英明、荒井勝彦、小金井一隆、嶋田 紘、福島恒男	Crohnに合併した難治性痔瘻に対するseton法の効果.	第59回日本消化器外科学会	福岡	2004年11月6日
木村英明、杉田 昭、小金井一隆、荒井勝彦、鬼頭文彦、福島恒男	潰瘍性大腸炎に対する小開腹大腸(亜)全摘術~開腹創長に關与する因子の検討と腹腔鏡手術との比較.	第59回日本消化器外科学会	福岡	2004年11月6日
杉田 昭	I-IBD-外科治療におけるPros and Cons ICDの手術適応と術前、術後管理.	The 1st Annual Meeting of JS IBD, Tokyo, 2004	東京	2004年12月6日
Kimura H, Sugita A, Arai K, Kito F, Fukushima T, Koganei K, Shimada H	Surgical Management of Duodenocolonic Fistulas in Crohn's Disease.	Abstract of 19th WC-ISDS	横浜	2004年12月11日
Sugita A, Kimura H, Arai K, Koganei K, Yamazaki Y, Shimada H, Fukushima T	Postoperative Results of One Stage Stapled Ileal Pouch Anal Anastomosis for Ulcretive Colitis.	Abstract of 20th WC-ISDS	横浜	2004年12月12日
Katsuhiko Arai, Hideaki Kimura, Kazutaka Koganei, Akira Sugita, Tsuneo Fukushima	Incidence and Outcome of Complications following Resorative Proctocolectomy	Abstract of 19th WC-ISDS	横浜	2004年12月12日
Koganei K, Kimura H, Sugita A, Mori R, Fukushima T, Shimada H	Steroid Related Complications of the Operated Patients with Ulcerative Colites.	Abstract of 19th WC-ISDS	横浜	2004年12月12日
杉田 昭	炎症性腸疾患の肛門病変に対する外科治療.	第33回神奈川大腸疾患研究会	横浜	2004年2月13日

杉田 昭	クローン病に対する外科的位置付け.	第4回京滋クローン病研究会	京都	2004年2月28日
杉田 昭	クローン病に対する栄養療法の意義－手術を含めて－.	第12回栄養サポートチーム (NST) 研究会	沖縄	2004年8月7日
杉田 昭	クローン病に対する外科治療の位置づけ.	第1回県北クローン病研究会	水戸	2004年9月16日
杉田 昭	継続ケアを支える新しい技術と知識 (栄養療法).	国際医療福祉大学大学院東京サテライトキャンパス	東京	2004年10月17日
杉田 昭	クローン病に対する外科治療の位置付け.	第5回大阪IBDセミナー	大阪	2004年11月13日
杉田 昭	クローン病の最新の治療と日常生活の過ごし方.	クローン病講演会 泉区福祉保健センター	横浜	2004年11月14日
杉田 昭	クローン病の外科療法について.	市民公開講座 クローン病医療講演会	広島	2004年11月29日
杉田 昭	外科臨床 「IBD-外科治療における Pros and Cons」 CDの手術適応と術前、術後管理	第1回日本炎症性腸疾患研究会学術集会	東京	2004年12月6日
杉田 昭	潰瘍性大腸炎に対する外科治療の位置付け.	第5回大阪IBDセミナー	大阪	2004年11月13日
杉田 昭	クローン病に対する外科治療の位置付け.	第3回宮崎大腸疾患研究会	宮崎	2005年2月5日
杉田 昭	IBDに対する外科治療 (アフタヌーンセミナー).	第104回日本外科学会定期学術集会	大阪	2004年4月2日
杉田 昭	IBD臨床9 (一般演題 (口演)).	第90回日本消化器病学会総会	仙台	2004年4月2日
杉田 昭	テーマ討論.	第4回クローン病治療法検討懇話会	仙台	2004年4月8日
杉田 昭	パネルディスカッション	炎症性腸疾患 (IBD) 市民公開講座	横浜	2004年7月5日
杉田 昭	一般演題 (小腸5).	第59回日本消化器外科学会定期学術総会	鹿児島	2004年7月23日
杉田 昭	一般演題 (口演) 大腸肛門・良性2.	第66回日本臨床外科学会総会	盛岡	2004年10月15日
杉田 昭	大腸癌「診断と治療のコンセンサス～症例から学ぶ消化器病学 この症例をどう診断・治療するか?～」.	第59回日本消化器病学会	福岡	2004年10月24日
杉田 昭	大腸・肛門17 座長	第42回日本癌治療学会総会	京都	2004年10月30日
杉田 昭	炎症性腸疾患の新しい治療法とその選択.	第59回日本大腸肛門病学会総会	福岡	2004年11月6日
井戸章雄、森内昭博、坪内博仁	難治性の消化器疾患に対する肝細胞増殖因子 (HGF) の臨床応用.	第90回日本消化器病学会総会	仙台	2004年4月22日
山本章二郎、宇都浩文、安部弘生、中西千尋、楠元寿典、蓮池悟、井戸章雄、林 克裕、坪内博仁	肝細胞増殖因子 (HGF) によるラット硫酸デキストラン実験腸炎に対する有効性の検討.	第90回日本消化器病学会総会	仙台	2004年4月21日
沼田政嗣、井戸章雄、坪内博仁	傷害粘膜の再生修復を目的とした肝細胞増殖因子 (HGF) を用いた新規治療法の開発.	第46回日本消化器病学会総会	福岡	2004年10月21日
沼田政嗣、井戸章雄、坪内博仁	TNBS腸炎モデルにおける肝細胞増殖因子の傷害粘膜修復促進作用の検討.	第46回日本消化器病学会総会	福岡	2004年10月21日
井戸章雄、蓮池悟、坪内博仁	肝再生を目的とした肝細胞増殖因子 (HGF) を用いた新規治療法の開発.	第46回日本消化器病学会総会	福岡	2004年10月21日

Kanna Kobayashi k, Arimura Y, Gotoh A, Imai K	Role of Matrix Metalloproteinase-3 and -10 in experimental colitis induced by dextran sulfate sodium.	The 3 <sup>rd</sup> Japan GRG/AGA Symposium	Hakone, Japan	2004年11月4日
小林 敏和、後藤 啓、岡原 聡、中原生哉、有村佳昭、今井浩三	腸管粘膜傷害における細胞内シグナル伝達とMMPs.	第90回日本消化器病学会	仙台	2004年4月21日
小林 敏和、後藤 啓、能正勝彦、中原生哉、山下健太郎、有村佳昭、遠藤高夫、今井浩三、本谷聡、黒河 聖、今村哲理、岡原聡、吉田幸成、小林壮光	潰瘍性大腸炎患者における血清MMP-3の検討.	第94回日本消化器病学会 北海道支部例会	札幌	2004年5月8日
岡原 聡、小林 敏和、中原生哉、後藤 啓、有村佳昭、本谷聡、今井浩三	cdNA array analysis of the mechanisms for mucosa healing in ulcerative colitis.	第11回東日本IBD病因・病態フォーラム	東京	2004年3月27日
岡原 聡、後藤 啓、有村佳昭、矢花 崇、小林 敏和、中原生哉、本谷 聡、遠藤高夫、小林 壮光、矢花 剛、今井浩三	cdNAアレイを用いた、潰瘍性大腸炎における遺伝子発現の検討.	第41回日本消化器免疫学会総会	滋賀	2004年7月15日
中原生哉、齊藤嘉津彦、本谷聡、後藤 啓、有村佳昭、矢花 崇、上野敦盛、小林 敏和、細川 歩、山下健太郎、今村哲理、遠藤高夫、宮本篤、今井浩三	炎症性腸疾患におけるMDRI遺伝子多型の検討.	第95回日本消化器病学会北海道支部例会	札幌	2004年9月11日
中村哲也、大島茂、渡辺 守	腸管上皮細胞における転写因子IRF-1/IRF-2による協調的IL-7産生調節.	第90回日本消化器病学会	仙台	2004年4月21日
蒔田 新、金井隆典、戸塚輝治、浦牛原幸治、河村貴広、谷本佳奈美、澤田泰輔、中村哲也、福島恒男、渡辺 守	ヒト腸粘膜内CD4+CD25bright制御性T細胞の存在と機能.	第90回日本消化器病学会	仙台	2004年4月21日
岡本隆一、松本智子、渡辺 守	骨髄由来細胞を利用した腸管上皮再生治療の検討.	第90回日本消化器病学会	仙台	2004年4月22日

岡本隆一、中村哲也、渡辺 守	Notchシグナルによるヒト小腸上皮細胞の分化調節機構の解析.	第90回日本消化器病学会	仙台	2004年4月22日
Kanai T, Uraushihara K, Totsuka T, Makita S, Iiyama R, Nakamura T, Watanabe M	A New Model of Chronic Colitis in SCID Mice Induced by Adoptive Transfer of CD4+ GITR- T Lymphocytes.	DDW 2004	New Orleans	2004年5月18日
Makita S, Kanai T, Matsumoto S, Uraushihara K, Totsuka T, Nakamura T, Watanabe M	The Role of Cryptopatch-Derived Intraepithelial Lymphocytes in the Development of Chronic Ileocolitis.	DDW 2004	New Orleans	2004年5月18日
Matsumoto T, Okamoto R, Yajima T, Nakamura T, Kanai T, Hibi T, Watanabe M	Increase of Bone Marrow-Derived Secretory Lineage Cells During Epithelial Regeneration Following Graft-Verses-Host Disease in the Human Intestinal Epithelia.	DDW 2004	New Orleans	2004年5月18日
Okada E, Yamazaki M, Nakamura T, Kanai T, Tanabe M, Takeuchi T, Watanabe M	The Pivotal Role of IL-1/IL-7r Dependent Signaling Pathway for Expansion of Highly IL-7r Expressing Mucosal T Cells and Development of Chronic Colitis.	DDW 2004	New Orleans	2004年5月18日
Oshima S, Nakamura T, Namiki S, Kanai T, Watanabe M	IRF-1 and IRF-2 Distinctively Up-Regulate Gene Expression and Production of IL-7 in Human Intestinal Epithelial Cells.	DDW 2004	New Orleans	2004年5月18日
Uraushihara K, Kanai T, Ko K, Totsuka T, Makita S, Nakamura T, Watanabe M	Regulation of Murine Chronic Colitis by CD25- GITR+ CD4+ Regulatory T Cells.	DDW 2004	New Orleans	2004年5月18日
Totsuka T, Kanai T, Uraushihara K, Makita S, Nakamura T, Fukushima T, Yagita H, Azuma M, Chen L, Watanabe M	Blockade of B7-1 Suppresses the Development of Chronic Intestinal Inflammation.	DDW 2004	New Orleans	2004年5月19日
大島 茂、中村哲也、並木伸、山崎元美、金井隆典、渡辺 守	IL-7産生機構異常による潰瘍性大腸炎発症.	第3回GIFM (Gut Inflammation Front Line Meeting)	東京	2004年7月10日
金井隆典、渡辺 守	慢性大腸炎を制御するGITR+CD4+CD25-regulatory T cells.	第25回日本炎症・再生医学会	東京	2004年7月14日



河村貴広、金井隆典、土肥多恵子、浦牛原幸治、戸塚輝治、油井 薫、藤井玲、谷本佳奈美、飯山稜一、澤田泰輔、中村哲也、鏝田武志、渡辺 守	B細胞CD4リガンド過剰発現による慢性腸炎モデルの検討.	第41回日本消化器免疫学会	天津	2004年7月15日
松本智子、岡本隆一、矢島知治、山崎元美、土屋輝一郎、並木 伸、中村哲也、金井隆典、日比紀文、稲澤穰治、渡辺 守	骨髄由来細胞による炎症性疾患に対する上皮再生治療の試み.	第41回日本消化器免疫学会	天津	2004年7月15日
金井隆典、戸塚輝治、八木田秀雄、渡辺 守	マウス炎症性腸疾患モデルを用いたB7-H1分子を標的とした新規治療法の開発.	第41回日本消化器免疫学会	天津	2004年7月16日
大島 茂、中村哲也、並木伸、山崎元美、金井隆典、渡辺 守	IL-7産生調節因子IRF蛋白発現異常による潰瘍性大腸炎発症.	第11回消化管分子機構研究会	東京	2004年8月8日
Watanabe M, Oshima S, Nakamura T, Kanai T	IRF-1 and IRF-2 distinctively up-regulate gene expression and production of IL-7 in human intestinal epithelial cells.	The Awaji International Forum on Infection and Immunity	淡路島	2004年8月31日
Watanabe M	Crossing between mucosal immunity and epithelial regeneration / differentiation in the human intestine.	第9回国際生殖免疫学会 (9th International Congress of Reproductive Immunology)	箱根	2004年10月14日
岡本隆一、中村哲也、渡辺 守	Notch Signalを介するヒト腸管上皮細胞の分化制御による上皮再生.	第46回日本消化器病学会	福岡	2004年10月21日
河村貴広、金井隆典、土肥多恵子、戸塚輝治、飯山稜一、浦牛原幸治、蒔田新、谷本佳奈美、油井 薫、澤田泰輔、中村哲也、鏝田武志、渡辺 守	B細胞CDリガンド過剰発現による慢性腸炎の発症.	第46回日本消化器病学会	福岡	2004年10月22日
Watanabe M	IL-7による粘膜免疫および腸上皮分化の制御.	第2回Pfizer Science and Research Symposium	名古屋	2004年11月11日
Watanabe M	Bone Marrow-Derived Secretary Lineage Epithelial Cells in the Human Intestine.	The MGH Annual Workshop of the Center for the Study of Inflammatory Bowel Disease	Boston	2004年11月13日

大島 茂、中村 哲也、並木 伸、岡田英理 子、山崎元美、 金井隆典、渡辺 守	慢性大腸炎発症におけるサイトカイン IL-7の役割とその産生調節機構。	第34回日本免疫学会	札幌	2004年12月1日
戸塚輝治、金井 隆典、蒔田 新、河村貴広、 飯山稜一、秋葉 久弥、岩井秀 之、東 みゆ き、八木田秀 雄、奥村 康、 CHEN Lieping、 渡辺 守	炎症性腸疾患および慢性大腸炎モデル におけるCo-stimulatory B7-H1分子の 関与。	第34回日本免疫学会	札幌	2004年12月2日
並木 伸、中村 哲也、大島 茂、山崎元美、 金井隆典、渡辺 守	Interferon Regulatory Factor (IRF)- 1によるIFN- $\gamma$ 依存性LMP7発現調節機 構。	第34回日本免疫学会	札幌	2004年12月2日
中村哲也、並木 伸、関根裕子、 大島 茂、山崎 元美、岡本隆 一、土屋輝一 郎、金井隆典、 渡辺 守	腸管上皮におけるIRF-1標的遺伝子の網 羅的解析と免疫プロテアソーム発現に 対するIRF-1分子機能。	第12回浜名湖シンポ ジウム	浜松	2004年12月23日
鈴木飛鳥、光山 慶一、富安信 夫、 増田淳也、高木 孝輔、古賀浩 徳、豊永 純、 佐田通夫	プロピオン酸菌による乳性発酵物の炎 症性腸疾患患者に対する有用性。	第90回日本消化器病 学会総会	仙台	2004年4月21-23日
安藤 朗、小川 敦弘、北村憲 一、 辻川知之、佐々 木雅也、藤山佳 秀、光山慶一	白血球除去療法 (LCAP) の全身性サイ トカインレスポンスと活性化血小板 マーカーに対する影響。	第90回日本消化器病 学会 総会	仙台	2004年4月21-23日
光山慶一、鈴木 飛鳥、富安信 夫、高木孝輔、 増田淳也、豊永 純、佐田通夫、 松本 敏	白血球除去療法のサイトカインシグナ ル伝達系に及ぼす影響	第90回日本消化器病 学会 総会	仙台	2004年4月21-23日
居石哲治、富安 信夫、光山慶一	潰瘍性大腸炎に合併した血栓症の検討。	第90回日本消化器病 学会 総会	仙台	2004年4月21-23日
光山慶一、鈴木 飛鳥、佐田通夫	新しい分子標的薬・JNK 阻害剤による 炎症性腸疾患治療の可能性。	第90回日本消化器病 学会 総会	仙台	2004年4月21-23日
Hanai H, Kanauchi O, Mitsuyama K, Andoh A, Fujiyama Y, Sata M, Bamba T, Araki Y, Takeuchi K, Iida T	Beneficial effects of prebiotics germinated barley foodstuff in the long term treatment of ulcerative colitis: a multicentre open control study.	The 2004 Annual Meeting of the British Society of Gastroenterology	Glasgow, UK	2004年5月21-24日

松本 敏、今岡明美、原 妙子、光山慶一、瀬戸山裕美、島龍一郎、伊藤喜久治、梅崎良則	Bacteroides および Lactobacillus の定着が正常時及び病態時のマウス腸粘膜免疫応答に与える影響について.	第8回腸内細菌学会	東京	2004年6月3-4日
光山慶一、鈴木飛鳥、富安信夫、増田淳也、高木孝輔、豊永純、佐田通夫	炎症性腸疾患に対する JNK 選択的阻害剤の治療作用.	第41回日本消化器免疫学会総会	大津	2004年7月15-16日
鈴木飛鳥、光山慶一、丹羽幹夫、富安信夫、豊永純、佐田通夫	クローン病患者血清と特異的に反応するエピトープペプチド.	DDW-Japan (第46回日本消化器病学会大会)	福岡	2004年10月21-23日
富安信夫、光山慶一、増田淳也、鈴木飛鳥、高木孝輔、豊永純、佐田通夫	ラット実験腸炎モデルにおける顆粒球吸着療法 (GCAP) の効果.	DDW-Japan (第46回日本消化器病学会大会)	福岡	2004年10月21-23日
竹田津英稔、光山慶一、松本敏、増田淳也、鈴木飛鳥、富安信夫、高木孝輔、豊永純、佐田通夫	クローン病モデルマウス SAMPl/Yit マウスにおける IL-5 の役割.	DDW-Japan (第46回日本消化器病学会大会)	福岡	2004年10月21-23日
松本 敏、光山慶一、左古知行	Lactobacillus casei シロタ株の腸炎抑制機構の解析: IL6 産生抑制細胞壁成分の解析.	第34回日本免疫学会総会 学術集会	札幌	2004年12月1-3日
竹田津英稔、光山慶一、松本敏、佐田通夫	クローン病モデルマウス SAMPl/Yit マウスにおける IL-5 の役割.	第34回日本免疫学会総会 学術集会	札幌	2004年12月1-3日
光山慶一	Role of the mucosal immunity and epithelial restitution in IBD : Which plays the leading part for future therapies.	第1回日本炎症性腸疾患研究会学術集会	東京	2004年12月4日
Suzuki Y, Yoshimura N, Saniabadi A, Saito Y	A prospective study of selective neutrophil and monocyte adsorptive apheresis as a first line treatment for steroid naive patients with active ulcerative colitis: a major step toward steroid free treatment of ulcerative colitis.	DDW 2004	New Orleans	2004年5月19日
Suzuki Y, Yoshimura N, Saniabadi A, Saito Y	A prospective to assess efficacy of selective neutrophil and monocyte adsorptive apheresis as a first line treatment in steroid naive patients with active ulcerative colitis: a step toward steroid free treatment of ulcerative colitis.	12th United European Gastroenterology Week	Prague	2004年9月20日
Isono A, Katsuno T, Morita H, Sato N, Seo G, Saito Y, Suzuki Y	Clostridium butyricum Culture Supernatant Downregulates Toll-like receptor 4 mRNA Level in Human Colonic Epithelial Cells.	DDW 2004		2004年5月19日

磯野貴史、勝野達郎、布留川潔、畠山一樹、森田秀和、徳政敦子、吉村直樹、時田健二、鈴木康夫、齋藤康	3菌種配合プロバイオテックスによるヒト腸管粘膜上皮細胞toll-like receptor 4 発現制御.	第90回日本消化器病学会総会	仙台	2004年4月22日
畠山一樹、吉村直樹、磯野貴史、布留川潔、森田秀和、徳政敦子、時田健二、勝野達郎、鈴木康夫、齋藤康	$\omega$ -3系脂肪酸含有半消化態栄養剤による活動期クローン病緩解導入の検討.	第90回日本消化器病学会総会	仙台	2004年4月23日
吉村直樹、鈴木康夫、畠山一樹、磯野貴史、布留川潔、森田秀和、徳政敦子、時田健二、勝野達郎、齋藤康	潰瘍性大腸炎に対する顆粒球吸着除去療法再施行成績の検討.	第90回日本消化器病学会総会	仙台	2004年4月21日
磯野貴史、畠山一樹、吉村直樹、布留川潔、佐藤徹、加藤靖隆、峯崇子、森田秀和、時田健二、勝野達郎、齋藤康、鈴木康夫	食道病変を合併した重症潰瘍性大腸炎の一例.	第281回日本消化器病学会関東支部例会	東京	2004年9月25日
吉村直樹、鈴木康夫、畠山一樹、磯野貴史、布留川潔、森田秀和、徳政敦子、時田健二、勝野達郎、齋藤康	重症潰瘍性大腸炎に対する顆粒球吸着除去療法の検討.		福岡	2004年10月23日
細江伸央、古川崇子、高田伸夫、山崎康朗、鈴木康夫、高橋牧子、立原敬一	若年者潰瘍性大腸炎に対する顆粒球吸着除去療法の適応.	第5回千葉急性血液浄化研究会	千葉	2004年5月1日
Becker C, Fantini MC, Schramm C, Lehr HA, Burg S, Blessing M, Strand D, Galle PR, Ito H, Nishimoto N, Yoshizaki K, Kishimoto T, Rose-John S, Neurath MF	TGF-beta Suppresses Tumor Progression in Th2 Colitis and Associated Colon Cancer by Inhibition of IL-6 Trans-Signaling.	DDW2004	New Orleans	2004年5月18日
伊藤裕章	Treatment of Crohn's Disease with Anti-IL-6 Receptor Antibody.	第90回日本消化器病学会総会	仙台	2004年4月23日
伊藤裕章	Anti-IL-6 Receptor Antibody Therapy for Crohn's Disease.	第32回日本臨床免疫学会総会	東京	2004年10月9日

Horie Y, Kataoka E, Iizuka M, Enomoto K, Watanabe S, T W Mak, Nakano T, Suzuki A	Hepatocyte-specific PTEN deficiency results in steatohepatitis and hepatocellular carcinoma, and insulin hypersensitivity.	The American Association for the Study of Liver Disease (AASLD) 55th Annual Meeting	Boston	2004年10月29日
Konno S, Iizuka M, Sasaki K, Sato A, Horie Y, Watanabe S	Novel evidence suggesting Clostridium difficile is actually present in human gut flora more frequently than previously suspected.	DDW 2004	New Orleans	2004年5月18日
Sato A, Iizuka M, Nakagomi O, Horie Y, Konno S, Sasaki K, Watanabe S	Rotavirus double-stranded RNA diminishes wound repair in intestinal epithelial cells.	DDW 2004	New Orleans	2004年5月19日
金野志穂、飯塚政弘、佐々木健治、佐藤亜紀子、堀江泰夫、渡辺純夫	炎症性腸疾患の腸管外合併症に関する検討.	第90回日本消化器病学会総会	仙台	2004年4月21日
堀江泰夫、片岡英、大嶋重敏、飯塚政弘、金野志穂、佐々木健治、佐藤亜紀子、渡辺純夫	肝臓における癌抑制遺伝子Ptenの機能解析.	第90回日本消化器病学会総会	仙台	2004年4月23日
飯塚政弘、佐々木健治、佐藤亜紀子、金野志穂、進藤健一、堀江泰夫、渡辺純夫	潰瘍性大腸炎難治例に対する新たな治療とその効果.	第46回日本消化器病学会大会	福岡	2004年10月22日
佐々木健治、飯塚政弘、金野志穂、佐藤亜紀子、進藤健一、堀江泰夫、渡辺純夫	小腸上皮創傷修復におけるエカペトナトリウムの効果.	第46回日本消化器病学会大会	福岡	2004年10月21日
佐藤亜紀子、飯塚政弘、佐々木健治、金野志穂、進藤健一、堀江泰夫、渡辺純夫	小腸上皮細胞創傷修復におけるロタウイルス二本鎖RNAの作用.	第46回日本消化器病学会大会	福岡	2004年10月21日
飯塚政弘、佐々木健治、金野志穂、佐々木健治、佐藤亜紀子、堀江泰夫、渡辺純夫	Toll like receptorリガンド刺激による小腸上皮細胞反応性の検討.	第41回日本消化器免疫学会総会	天津	2004年7月15日

姉崎有美子、飯塚政弘、佐藤亜紀子、金野志穂、佐々木健治、堀江泰夫、草野智之、柴田聡、伊藤正直、渡辺 純夫	大量出血をきたしたCrohn病の1例.	第176回日本消化器病学会東北支部例会	仙台	2004年2月7日
山田育弘、飯塚政弘、佐藤亜紀子、佐々木健治、進藤健一、相良志穂、堀江泰夫、渡辺 純夫	ペントサ注腸が著効した難治性潰瘍性大腸炎の1例.	第177回日本消化器病学会東北支部例会	山形	2004年7月9日
堀江泰夫、片岡英、佐々木雄彦、濱田浩一、佐々木純子、水野克典、岸本恕征、飯塚政弘、榎本克彦、渡辺純夫、仲野徹、鈴木 聡	PTENによる非アルコール性脂肪性肝炎と肝癌発症の制御.	第63回日本癌学会学術総会	福岡	2004年9月29日
畠山勝義	潰瘍性大腸炎に対するW型回腸囊肛門吻合術.	第104回日本外科学会定期学術集会	大阪	2004年4月9日
飯合恒夫、岩谷昭、高久秀哉、島田能史、谷達夫、岡本春彦、畠山勝義	潰瘍性大腸炎に対する回腸囊肛門吻合術の短期および長期合併症.	第104回日本外科学会定期学術集会	大阪	2004年4月7日
飯合恒夫、岩谷昭、谷 達夫、岡本春彦、畠山勝義	潰瘍性大腸炎に対する手術適応とそのタイミング.	第59回日本消化器外科学会定期学術総会	鹿児島	2004年7月22日
野上 仁、谷達夫、飯合恒夫、岡本春彦、畠山勝義	当科における瘻孔を合併したクローン病症例の検討.	第59回日本消化器外科学会定期学術総会	鹿児島	2004年7月22日
飯合恒夫、谷達夫、野上仁、岡本春彦、畠山勝義	潰瘍性大腸炎再燃に伴い脳梗塞を併発し大量出血にて緊急手術を施行した1例.	潰瘍病態研究会 第13回 フォーラム	東京	2004年8月28日
飯合恒夫、野上仁、清水大喜、高橋 聡、小林康雄、須田和敬、桑原明史、谷 達夫、岡本春彦、畠山勝義	栄養療法は有効か？.	第1回日本在宅静脈経腸栄養研究会	新潟	2004年9月25日
谷 達夫、岡本春彦、飯合恒夫、小林康雄、野上 仁、下山雅朗、桑原明史、畠山勝義	脳梗塞を発症した若年者潰瘍性大腸炎の2症例.	第66回日本臨床外科学会総会	盛岡	2004年10月13日

飯合恒夫、谷達夫、桑原明史、下山雅朗、岡本春彦、畠山勝義	オムニトラクトを用いた小開腹法による潰瘍性大腸炎に対する大腸全摘、回腸囊肛門吻合術。	第66回日本臨床外科学会総会	盛岡	2004年10月15日
岩谷 昭、飯合恒夫、畠山勝義	回腸囊炎における便中細菌叢の検討及びprobioticsの効果。	第46回日本消化器病学会大会	福岡	2004年10月24日
野上 仁、飯合恒夫、桑原明史、下山雅朗、谷 達夫、岡本春彦、畠山勝義	潰瘍性大腸炎の経過中に脳梗塞を合併した1手術例。	第59回日本大腸肛門病学会総会	久留米	2004年11月6日
飯合恒夫、谷達夫、岡本春彦、畠山勝義	重篤なウイルス感染症が疑われ治療に難渋した潰瘍性大腸炎の2例（インターネット討論）。	第17回日本外科感染症学会総会	長岡	2004年12月1日
Ikeuchi H, Nakano H, Uchino M, Nakamura M, Noda M, Yanagi H, Yamamura T	Effects of nutritional therapy on surgical treatment in Crohn's disease.	19th ISDS	Yokohama	2008年12月10日
Ikeuchi H, Nakano H, Uchino M, Nakamura M, Noda M, Yanagi H, Yamamura T	Comparison of restrative proctocolectomy with and without diverting ileostomy in ulcerative colitis.	19th ISDS	Yokohama	2008年12月12日
Uchino M, Ikeuchi H, Nakano H, Noda M, Yanagi H, Yamamura T	Pouchitis in Japanese patients.	19th ISDS	Yokohama	2008年12月12日
中埜廣樹、池内浩基、内野基、中村光宏、野田雅史、柳秀憲、山村武平	難治性回腸囊炎の1例。	第72回日本消化器内視鏡学会近畿地方会	奈良	2008年3月7日
内野 基、池内浩基、中埜廣樹、野田雅史、柳 秀憲、山村武平	結腸全摘術後、残存直腸出血にて緊急手術を要したステロイド不応性慢性持続型潰瘍性大腸炎の1例。	第40回日本腹部救急医学会総会	東京	2008年3月19日
中埜廣樹、池内浩基、内野基、中村光宏、野田雅史、柳秀憲、山村武平	クローン病の術後に腸重積を認めた1例。	第40回日本腹部救急医学会総会	東京	2008年3月20日
池内浩基、中埜廣樹、内野基、中村光宏、野田雅史、柳秀憲、山村武平	潰瘍性大腸炎に対する1期的J型回腸囊肛門吻合術は安全か。	第104回日本外科学会定期学術集会	大阪	2008年4月8日
池内浩基、中埜廣樹、山村武平	潰瘍性大腸炎手術症例の腸管外合併症とステロイドの副作用。	第90回日本消化器病学会総会	仙台	2008年4月23日

内野 基、池内浩基、中村光宏、中埜廣樹、野田雅史、柳秀憲、山村武平	大腸癌を合併した潰瘍性大腸炎30症例の検討.	第59回日本消化器外科学会定期学術総会	鹿児島	2008年7月23日
池内浩基、中埜廣樹、内野基、中村光宏、野田雅史、柳秀憲、山村武平	重症潰瘍性大腸炎に対する緊急手術症例の検討.	第59回日本消化器外科学会定期学術総会	鹿児島	2008年7月24日
長田勇気、内野基、池内浩基、野田雅史、柳秀憲、山村武平	結腸十二指腸瘻を形成した、クローン病の1例および自験例8例の検討.	第81回日本消化器病学会近畿支部例会	京都	2008年9月12日
坂東俊宏、中埜廣樹、池内浩基、内野基、中村光宏、大嶋勉、外賀真、中尾宏司、野田雅史、柳秀憲、山村武平	肝外門脈閉塞症を合併した潰瘍性大腸炎の一例.	第73回日本消化器内視鏡学会近畿地方会	大阪	2008年9月19日
中村光宏、池内浩基、中埜廣樹、内野基、野田雅史、柳秀憲、山村武平	潰瘍性大腸炎患者の総ステロイド量と副作用の検討.	第66回日本臨床外科学会総会	盛岡	2008年10月15日
池内浩基、中埜廣樹、内野基、中村光宏、中尾宏司、大嶋勉、野田雅史、柳秀憲、山村武平	潰瘍性大腸炎に対する1期的J型回腸囊肛門吻合術の周術期管理と術後経過.	第66回日本臨床外科学会総会	盛岡	2008年10月16日
中埜廣樹、池内浩基、内野基、中村光宏、中尾宏司、大嶋勉、野田雅史、柳秀憲、山村武平	クローン病多数回手術症例と吸収障害.	第66回日本臨床外科学会総会	盛岡	2008年10月16日
池内浩基、中埜廣樹、内野基、中村光宏、野田雅史、柳秀憲、山村武平	潰瘍性大腸炎に対する術式の変遷：3期分割手術から1期的手術へ.	第59回日本大腸肛門病学会総会	久留米	2008年11月6日
内野 基、池内浩基、中村光宏、中埜廣樹、野田雅史、柳秀憲、山村武平	J型回腸囊肛門吻合術における、術後 pouch failure症例の検討.	第59回日本大腸肛門病学会総会	久留米	2008年11月7日
広瀬 慧、内野基、池内浩基、中埜廣樹、野田雅史、柳秀憲、山村武平	潰瘍性大腸炎、クローン病の鑑別に苦渋した1例.	第59回日本大腸肛門病学会総会	久留米	2008年11月7日



Hashimoto T, Itabashi M, Kameoka S, Izyka B, Shiratori K	Surgical timing and problems in cases with crohn's disease complicated with abscess formation.	XXth Biennial Congress of the ISUCRS	Budapest, Hungary	2004年6月8日
Hirosawa T, Itabashi M, Hashimoto T, Ogawa S, Kameoka S, Hamano K	Laparoscopic procedure for crohn's disease of sigmoid colon-vesicle fistula.	XXth Biennial Congress of the ISUCRS	Budapest, Hungary	2004年6月9日
Itabashi M, Hashimoto T, Hirosawa T, Ogawa S, Saito N, Aratake K, Seshimo A, Shirotani N, Kameoka S, Hamano K	Hand-assisted laparoscopic surgery (HALS) for colorectal diseases.	XXth Biennial Congress of the ISUCRS	Budapest, Hungary	2004年6月8日
Itabashi M, Hashimoto T, Hirosawa T, Ogawa S, Kameoka S	Laparoscopic surgery for ulcerative colitis.	19th ISDS	Yokohama, Japan	2004年12月11日
田口あゆみ、板橋道朗、小川真平、廣澤知一郎、吉邑由佳、成田 徹、亀岡信悟	腸腰筋膿瘍を合併した潰瘍性大腸炎の一例。	第29回日本外科系連合学会学術集会	東京	2004年7月2日
板橋道朗、橋本拓造、廣澤知一郎、小川真平、亀岡信悟	クローン病術後再発危険因子とfollow upの留意点。	第59回日本消化器外科学会定期学術集会	鹿児島	2004年7月22日
板橋道朗、橋本拓造、廣澤知一郎、小川真平、亀岡信悟	潰瘍性大腸炎に対する腹腔鏡下手術とその適応。	第13回潰瘍病態研究会	東京	2004年8月28日
板橋道朗、橋本拓造、廣澤知一郎、小川真平、亀岡信悟、飯塚文瑛、白鳥敬子	潰瘍性大腸炎癌化例に対する外科治療。	第66回日本臨床外科学会総会	盛岡	2004年10月15日
山田暁輝、板橋道朗、亀岡信悟	潰瘍性大腸炎術後に多発関節炎を呈した一例。	第1回日本炎症性腸疾患研究会	東京	2004年12月4日
板橋道朗、亀岡信悟	潰瘍性大腸炎手術におけるsurgical site infection.	第1回日本炎症性腸疾患研究会	東京	2004年12月4日
亀岡信悟、板橋道朗、小川真平、廣澤知一郎、橋本拓造	「臨床と病理の接点における問題-IBD cancer」-外科治療。	第1回日本消化管学会総会	名古屋	2005年1月28日
末永きよみ、宮田愛子、高橋俊子、板橋道朗、亀岡信悟	潰瘍性大腸炎手術におけるストーマ造設術後の術野感染症がストーマケアに与える影響についての検討。	第22回日本ストーマリハビリテーション学会総会	高知	2005年2月5日
田村和朗、嵯峨山健、山村武平	潰瘍性大腸炎合併大腸癌のCDKN2A異常およびミスマッチ修復機構異常とその意義。	第104回日本外科学会定期学術集会	大阪	2004年4月1日

大谷剛正、佐藤武郎、小澤平太、中村隆俊、根本一彦、國場幸均、井原厚、佐藤光史、渡邊昌彦	潰瘍性大腸炎の手術適応と手術タイミングおよび術式の検討.	第59回日本消化器外科学会総会パネルディスカッション	鹿児島	2004年7月23日
Takagi T, Naito Y, Katada K, Isozaiki Y, Kuroda M, Tsuboi H, Okuda T, Kokura S, Ichikawa H, Yoshida N, Yoshikawa T	ONO4817, an orally active matrix metalloprotease inhibitor, prevents dextran sulfate sodium induced colitis in mice.	DGS	Awaji, Japan	2004年3月27日
Naito Y, Takagi T, Katada K, Isozaiki Y, Kuroda M, Okuda T, Tsuboi H, Kokura S, Ichikawa H, Yoshida N, Okanoue T, Yoshikawa T	Interaction between carbon monoxide and nitric oxide in the intestinal mucosa of dextran sulfate sodium-treated mice.	DDW 2004	New Orleans	2004年5月18日
Takagi T, Naito Y, Katada K, Isozaiki Y, Kuroda M, Tsuboi H, Okuda T, Kokura S, Ichikawa H, Yoshida N, Yoshikawa T	Heme oxygenase regulates the balance of inflammatory cytokines in dextran sodium sulfate-induced colitis.	DDW 2004	New Orleans	2004年5月18日
Y. Naito, T. Takagi, H. Tsuboi, K. katada, Y. Isozaiki, M. Kuroda, T. Okuda, S. Kokura, H. Ichikawa, N. Yoshida, T. Yoshikawa	The role of gaseous monoxides in dextran sodium sulfate-induced colitis.	The 3rd international nitric oxide conference	Nara, Japan	2004年5月25日
T. Takagi, Y. Naito, H. Ichikawa, N. Tomatsuri, K. katada, Y. Isozaiki, M. Kuroda, T. Okuda, S. Kokura, N. Yoshida, T. Yoshikawa	A Selective Inducible Nitric Oxide Inhibitor, ONO-1714, Reduces Intestinal Ischemia-Reperfusion Injury in Rats.	The 3rd international nitric oxide conference	Nara, Japan	2004年5月25日

T. Takagi, Y. Naito, K. katada, Y. Isozaiki, M. Kuroda, H. Tsuboi, T. Okuda, S. Kokura, H. Ichikawa, N. Yoshida, T. Yoshikawa	The role of heme oxygenase on the balance of inflammatory cytokines in dextran sodium sulfate-induced colitis.	2004APS Transitional research confernce	Aspen, Colorado	2004年9月8日
H. Tsuboi, Y. Naito, T. Takagi, K. katada, Y. Isozaiki, M. Kuroda, T. Okuda, S. Kokura, H. Ichikawa, N. Yoshida, T. Yoshikawa	Carbon monoxide gas measurements; application to human and rodents.	2004APS Transitional research confernce	Aspen, Colorado	2004年9月8日
Y. Naito, T. Takagi, H. Tsuboi, K. katada, Y. Isozaiki, M. Kuroda, T. Okuda, S. Kokura, H. Ichikawa, N. Yoshida, T. Yoshikawa	Gaseous monoxides in dextran sodium sulfate-induced colitis.	2004APS Transitional research confernce	Aspen, Colorado	2004年9月10日
高木智久、内藤裕二、坪井寿人	大腸内一酸化窒素ガス測定の基礎的検討とその臨床的意義.	第80回日本消化器病学会近畿支部例会(シンポジウム)	大阪	2004年2月21日
高木智久、内藤裕二、堅田和弘、磯崎豊、黒田雅昭、古倉聡、市川寛、吉田憲正、吉川敏一	Heme oxygenase-1はDextran Sodium Sulfate腸炎における炎症性サイトカインバランスを制御する.	第90回日本消化器病学会総会	仙台	2004年4月21日
坪井寿人、内藤裕二、高木智久、堅田和弘、磯崎豊、黒田雅昭、古倉聡、市川寛、吉田憲正、吉川敏一	Dextran Sodium Sulfate腸炎と腸管内一酸化窒素ガス.	第90回日本消化器病学会総会	仙台	2004年4月21日
高木智久、内藤裕二、堅田和弘、磯崎豊、黒田雅昭、古倉聡、市川寛、吉田憲正、吉川敏一	Dextran Sodium Sulfate腸炎におけるHemoxygenase-1の役割-第2報-.	第26回日本フリーラジカル学会(奨励賞)	山形	2004年6月24日

高木智久、内藤裕二、堅田和弘、磯崎豊、黒田雅昭、古倉聡、市川寛、吉田憲正、吉川敏一	ガス状メディエーター—酸化窒素(NO)、一酸化炭素(CO)—を標的分子とした炎症性腸疾患病態制御の可能性.	第41回日本消化器免疫学会総会(シンポジウム)	天津	2004年7月16日
高木智久、内藤裕二、堅田和弘、磯崎豊、黒田雅昭、古倉聡、市川寛、吉田憲正、吉川敏一	マウスDextran Sodium Sulfate腸炎におけるガス状メディエーターの役割.	第46回日本消化器病学会大会(DDW)	福岡	2004年10月22日
高木智久、内藤裕二、堅田和弘、磯崎豊、黒田雅昭、古倉聡、市川寛、吉田憲正、吉川敏一	腸炎治癒過程におけるHemoxygenase-1(HO-1)の役割に関する検討.	第32回日本実験潰瘍学会	天津	2004年11月20日
工藤進英	箱根pit patternシンポジウムの結果報告—V型の箱根合意について—.	第14回大腸Ⅱc研究会	横浜	2004年9月19日
工藤進英	Colitic cancerの内視鏡診断と治療.	DDW 2004シンポジウム8	福岡	2004年10月22日
Kudo S	The Chromo and magnifying endoscopy.	International Workshop on Diagnostic and Operative Digestive Endoscopy	Messina, Italy	2004年11月4日
Kudo S	Growing Patterns of Colonic Cancers : ADENOMA-CARCINOMA SEQUENCE AND DENOVO.	International Workshop on Diagnostic and Operative Digestive Endoscopy	Messina, Italy	2004年11月6日
Kudo S	Flat and depressed lesion.	1st AGA/JSGE joint meeting <Endoscopic Imaging and Therapt:at the Cutting Edge>	Washington	2004年12月2日
Futami k, Kawahara K, Higashi D, Seki K, Arima S	Long-term follow-up of Strictureplasty for Obstructive Crohn's Disease.	XXth ISUCRS	Budapest	2004年6月6日
Futami k, Arima S	Role of Strictureplasty in Surgical Treatment of Crohn's Disease.	第90回日本消化器病学会	仙台	2004年4月21日
二見喜太郎、河原一雅、東大二郎、紙谷孝則、関克典、永川祐二、高山成吉、平野憲二、田村智章、有馬純孝	内科的治療の変遷からみた潰瘍性大腸炎手術症例の検討.	第59回日本消化器外科学会	鹿児島	2004年7月21日